

巻頭言

新年のご挨拶

——心身共に健全に——

辻 靖 三



2011年の新年を迎え、謹んでお慶び申し上げます。
新しい年頭にあたり一年を希望に満ちてスタートしたいのですが、昨今はなかなか素直にそう言い切れないのが正直なところでしょうが、今年こそしっかりと上向きな社会となるように願いたいものです。

「健全な精神は健全な身体に宿る」というローマ時代の格言があり、日本でも人口に膾炙しています。原文の意味は議論があるようですが、「心身共に健全であるように」という、人間は心と体のバランスとれた成長をすべしとのようです。日本でも、様々な領域でその道を極めるには「心技体」が揃っていることが欠かせないとされています。

個々の人間は、家庭、地域、社会、国家に拠りたっているもので、個々の人間の健全な成長は国家、社会、地域の健全な成長に繋がっているのでしょう。逆に、国家、社会、地域の健全な成長はそれぞれ密接関連でしょうし、個人の健全な成長にも大きく影響するでしょう。

日本は1960年代以降、狭い国土を次々と整備して身体能力を上げ、その基盤で頭から手足までを効果的に活動させて成長してきて、先進国の位置づけを得ました。それは科学技術に取り組む頭脳活動、国内外での経済活動の成果で、それが生活の安定向上になり、芸術文化面にも波及し、国家の心身の発展となったのです。「衣食足りて、礼節を知る」国とは、心身のバランスがとれた国でしょう。

しかし、日本が高齢化社会になる一方、世界各国の情勢が変わって、競争性になるとともにグローバル化になると、心と体のバランスが崩れてきています。それまでの成長源であった体力も高齢化しつつあり、維持向上努力も種々議論されていますが、体力アップにはどれほど繋がるのかの感で、推進力の衰えは周囲の走者に追い越されつつあります。

今は、肝心の体が高齢化してきて、頭とバランスがとれず、もがいている不健全な状態で、放置しておくとは致命傷になりかねないと思います。体に活力を注入して、健全な心を支える健全な体に戻すことが最善の治療法です。健全な体は多くの骨格、筋肉、関節、血管等で構成され、各部位と全体のケアと体質改善が必要です。

当協会もこの構成要員の一つでありまして、寒風の吹く季節下ではありますが、与えられた使命をしっかりと果たすべく一同努力していく所存です。また本年は、協会としての新しい役割と体制に向けて行動を起こす年となりますので、会員各位におかれましては協会活動への一層のご協力、ご支援、ご鞭撻をお願いいたします。

「心身共に健全な」国、「心身共に健在な」社会、「心身共に健在な」企業・団体を目指して、持てる力を発揮できる年となることを願っています。

——つじ せいぞう (社)日本建設機械化協会 会長——